



## 転落時の衝撃を やわらげる環境をつくりましょう



おやすみになるときはベッドを1番低い位置まで下げます。超低床ベッドを使うことで、より床に近づけることができます。



認知症などでサイドレールを乗り越えようとする恐れがある場合は、サイドレールは外します。サイドレール受けは簡単に収納できるため、万が一の転落時身体をぶつけてのケガも防げます。



ベッドの横に衝撃吸収マットレスなどを敷くことで、より衝撃をやわらげます。

### 📎 認知症に伴う行動・心理症状 (BPSD) について

ベッドからの転落・乗り越えといった状況は、認知症の中核症状である記憶障害や見当識障害、理解力・判断力の低下に伴う行動・心理症状 (BPSD) の可能性があります。そういう時には「本人の不安要素を探す」「気持ちを好きなことに逸らす」「一緒に歩く」などの対応をしましょう。決して否定や、身体的拘束などの行動を制限する行為をしてはいけません。

📍 **ポジショニングベッドで解決!**

おやすみ時の転落予防◎

